

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

令和3年9月1日（N o 3 / 1）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／石川 敏也

経営協議会開催

「予土線従来型ワンマン【後部開放】の実施及び 宇和島運転区の業務体制の見直しについて」 説明を受ける

J R 四 国 労 組 は、本 日 開 催 さ れ た 経 営 協 議 会 に お い て 「 予 土 線 従 来 型 ワ ン マ ン 【 後 部 開 放 】 の 実 施 及 び 宇 和 島 運 転 区 の 業 務 体 制 の 見 直 し に つ い て 」 （ 別 紙 参 照 ） の 説 明 を 会 社 よ り 受 け、協 議 を 行 っ た。

会 社 か ら 「 2 0 2 2 年 春 ダ イ ヤ 改 正 に お い て、車 掌 及 び 管 理 部 門 の 省 人 化 を 図 る た め、予 土 線 で 従 来 型 ワ ン マ ン 【 後 部 開 放 】 を 実 施 す る と と も に、宇 和 島 運 転 区 の 業 務 体 制 を 見 直 す。こ れ に よ り、予 土 線 の す べ て の 定 期 列 車 が ワ ン マ ン 列 車 と な り、車 掌 業 務 を 松 山 運 転 所 に 移 管 し た う え で 指 導 担 当 を 削 減 す る ほ か、ト ロ ッ コ 等 の 臨 時 列 車 は 運 転 士 が 車 掌 と し て 乗 務 を 行 う こ と と な る。今 後 の 進 め 方 と し て は、9 月 8 日 か ら 1 0 日 に か け て 宇 和 島 運 転 区 所 属 の 社 員 に 説 明 を 行 う 予 定 で あ る。」 と の 説 明 が あ っ た。

<説明に対する主なやりとり>

組 合：ト ロ ッ コ 等 の 臨 時 列 車 に つ い て、運 転 士 に 車 掌 業 務 を 行 わ せ る と の こ と で あ る が、ト ロ ッ コ 列 車 と い う 観 光 列 車 に 乗 務 す る と い う 点 を 踏 ま え た 教 育 の 実 施 等 は 検 討 し て い る の か。

会 社：現 行 の 4 8 1 2 D 列 車、4 8 1 5 D 列 車 に つ い て は、平 日 は 運 転 士 に よ る 車 掌 業 務 の 兼 掌 に よ り ツ ー マ ン 列 車 と し て 運 転 を 行 っ て い る と こ ろ で あ る が、ト ロ ッ コ と な る と サ ー ビ ス 面 で 異 な る 部 分 も 生 じ る こ と か ら、実 施 に 向 け、時 間 を 確 保 し て 運 転 士 の 営 業 知 識 等 に 関 す る 教 育 を 行 う 予 定 で あ る。

組 合：本 来 の 職 務 内 容 か ら す べ ば、宇 和 島 運 転 区 の 運 転 士 が 車 掌 業 務 を 兼 掌 す る の で は な く、松 山 運 転 所 車 掌 科 か ら 車 掌 を 送 り 込 む べ き で は な い か。と り わ け、観 光 列 車 で あ る が 故、専 門 的 知 識 が 必 要 と な る 場 面 も あ る。

会 社：そ う し た 案 も 検 討 は し た が、1 日 の 拘 束 時 間 が 長 く な る こ と を 考 慮 し、運 転 士 に よ る 対 応 を 採 用 す る こ と と し た。

組 合：そ も そ も 車 掌 の 拘 束 時 間 は 長 時 間 化 が 進 ん で し ま っ て い る。拘 束 時 間 を 優 先 す る と い う な ら ば、他 区 所 を 含 め、乗 務 員 の 拘 束 時 間 に つ い て も 次 回 ダ イ ヤ 改 正 時 に 改 善 す べ き で あ る。

会 社：現 時 点 で は 何 と も 言 え な い が、拘 束 時 間 に つ い て は 行 路 を 一 つ 一 つ 見 直 し

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

令和3年9月1日（No.3／2終）

発行責任者／大谷 清 編集責任者／石川 敏也

ながら、積み重ねて改善していきたいと考えている。

宇和島運転区における対応については、ご指摘の点を踏まえ、社員説明の際には丁寧に説明し指導・教育を図ることとしたい。

組 合：今回の施策を実施するだけでなく、泊まり勤務の解消など、働きやすい環境整備にも目を向けてもらいたい。宇和島運転区の効率化、乗務員の健康管理や設備、要員需給の問題解決を図る意味でも是非検討すべきである。

会 社：引き続き検討はしていきたい。

組 合：説明会は3日間を予定しているということだが、対象社員はどの範囲か。

会 社：移管される車掌業務に係る社員や助役を念頭に置いていたが、先ほどのご指摘を踏まえ、運転士に対しても速やかに説明の実施を行うよう検討する。

組 合：運転方式が変わるということからも業務面での大きな影響を受けるのは運転士であるので、丁寧な説明を実施されたい。一方で、職場がなくなるという意味で、車掌に対しても誠意をもって対応されたい。

会 社：ご指摘を踏まえ、丁寧に説明することとしたい。

組 合：宇和島運転区の車掌業務を松山運転所車掌科へ移管する場合、全員が宇和島運転区から松山運転所に異動するということか。

会 社：あくまで、業務内容が移管されるということであり、人事異動に関しては、要員需給等を踏まえつつ対応する。

組 合：旅客周知用のパネルや放送案内、ミラーの設置等ハード面での整備は行うのか。

会 社：実施にあたり安全を担保するため設備投資を行う予定である。

組 合：ソフト、ハードの両面でどのような対策が取られるのか、関係する社員に対し具体的な説明を実施されたい。

本施策に対しては当該職場の組合員の声を集約した上で、対応することとしたい。

今回説明を受けた「予土線従来型ワンマン【後部開放】の実施及び宇和島運転区の業務体制の見直しについて」は、運転部会及び関係支部、関係分会から意見集約のうえ会社と協議することとした。

また、8月中旬の大雨災害への対応方について、社内での検証の機会を設けるとの報告を受けた。

以 上

予土線従来型ワンマン【後部開放】の実施及び宇和島運転区の業務体制の見直しについて

2021年9月1日



2022年春ダイヤ改正において、予土線で従来型ワンマン【後部開放】を実施するとともに、宇和島運転区の業務体制を見直すことで車掌及び管理部門の省人化を図ります。

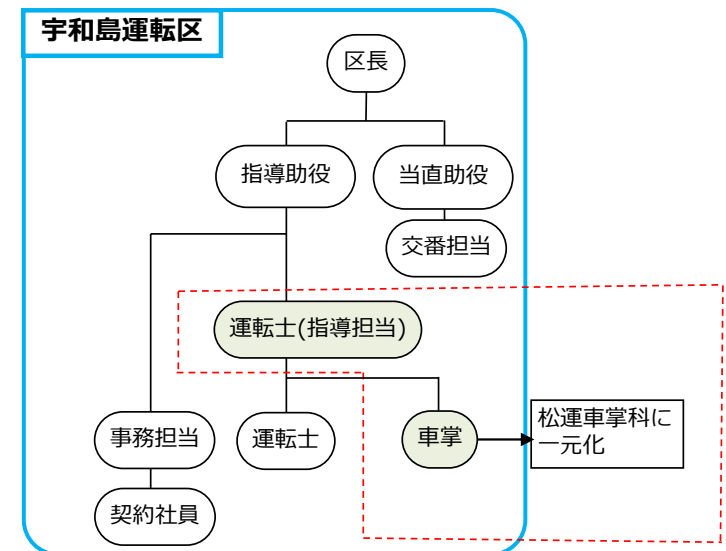
1 実施内容

実施時期	実施内容
2022年春 ダイヤ 改正	- 予土線で従来型ワンマン【後部開放】を実施する。（別紙） - 宇和島運転区の車掌業務を松山運転所車掌科へ移管する。 - 車掌指導担当業務を兼務している運転士（指導担当）を削減する。

※予土線のすべての定期列車がワンマン列車となる。
※トロッコ等の臨時列車は運転士が車掌として乗務を行う。

2 今後のスケジュール

- (1) 社員説明 2021年9月8日～9月10日
- (2) 線見実施 2022年1月以降
- (3) 施策実施 2022年3月ダイヤ改正



別紙: 従来型ワンマン【後部開放】

(1) 実施内容

- ①対象区間：予土線 江川崎～宇和島間（14駅）
- ②対象車両：キハ32、54形式（27両）
- ③候補列車：811D、4812D
- ④ノリホ実績

列車 番号	始発駅	到着駅	乗車数(平日・土曜・休日)	
			2019年	2021年
811D	江川崎(6:40)	宇和島(8:02)	144・36・24	92・36・17
4812D	宇和島(7:25)	近 永(8:01)	115・61・33 ^注	88・46・25

注：適正化した4814Dのノリホ実績を加算

※2019年：4/8～5/31実績（4/26～5/6のGW・運休除く）

2021年：4/8～5/31実績（4/29～5/9のGW・運休除く）

(2) 運転取扱い

従来型ワンマン【後部回送】と同様に、ホームミラーで前側1両の乗降を確認し、ワンマンドアスイッチで客扱いする。

※一部駅で後部車両のホーム外れが発生（真土…1両ホーム、大内・北宇和島）

※高校の最寄駅は、乗降数に応じた停車時分を確保（近永、伊予宮野下）

(3) 乗降方法

後乗り前降りとする。（連結部貫通路を開放し、2両目に乗車可能）

